

ビザンティン時代からオスマン帝国まで

コムパス文化スペシャル

魅惑の トルコ 陶器

2002年

7月13日(土)～8月28日(水)

◆岡山市立オリエント美術館 岡山市東区神門9-31 電話086-822-3306
<http://www.city.okayama.okayama.okayama.jp/orientmuseum/>

開館時間／午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで) 休館日／毎週月曜日

入場料金／般850円(前売750円) 大高生・65歳以上の方650円 中小生450円

(20名以上の団体は当日料金から各100円割引)

※入場料金の部50円を美術品等収蔵準備費に寄付させていただきます。

主 催／岡山市立オリエント美術館、財団法人中近東文化センター、OHK岡山放送
特別協賛／コムパス株式会社 特別協力／島根県並河萬里写真財団

後 援／トルコ共和国大使館、日本トルコ協会、トルコ中東アジア文化センター、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、
岡山オリエント協会、岡山市連合婦人会、山陽新聞社、岡山日日新聞社、朝日新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局、四国新聞社、
産経新聞岡山総局、日本経済新聞岡山支局、岡山リビング新聞社、中国新聞社、NHK岡山放送局



魅惑のトルコ陶器

ビザンティン時代からオスマン帝国まで

美しい色彩が奏でる、トルコ陶器の世界。

古都イスタンブールを中心に、バルカン半島からアナトリア半島にわたる地域では、一千年の栄華を誇ったビザンティン帝国に続いて富強のオスマン・トルコ帝国が栄え、すぐれた陶芸の伝統が生まれました。特に16世紀イズニク窯の製品は、雪のように白く硬質な下地に、鮮烈な赤、濃紺、薄紫、エメラルドグリーンの色彩で、優美な蔓草や、チューリップ・アネモネなどの草花が描かれ、今も世界中の人々を魅了しています。

この特別展では、東京・三鷹の財団法人中近東文化センターが保管する国際的規模の秘蔵コレクションに各地の関連品を加えた約150点で、華やかなオスマン・トルコの陶器と建築装飾タイル、およびその前史をなすローマ・ビザンティン陶器や、オスマン朝治下のシリアの陶器を豊富に集めました。



▲多彩花文把手付花瓶／イズニク(トルコ)
16世紀後半
中近東文化センター



▲白釉多彩花文皿／イズニク(トルコ)
16世紀後半
中近東文化センター



▲多彩花文タイル／イズニク(トルコ)
16世紀後半
中近東文化センター



岡山市立オリент美術館

岡山市天神町9-31 電話086-232-3636
<http://www.city.okayama.okayama.jp/orientmuseum/>



●JR岡山駅東口より徒歩15分。
●市内電車「東山」行きで5分、「城下」下車、左手すぐ。



特別講座 「トルコと日本を結ぶイズニク陶器」

■講師／高橋忠久(中近東文化センター研究員)

とき 7月27日 13時～16時30分 ところ 美術館地下講堂 料金 500円

会期中限定 トルコの味わい ちょっとひといき

喫茶イブリク(美術館2階)にてトルコ・メニューをお楽しみいただけます。

メニュー ●エルマチャイ(トルコ風アップルティー) ●トルコ菓子 ●トルコの白チーズなど